

モモイロペリカンの赤ちゃん2羽、人工飼育で順調に成長

宇部市ときわ動物園では、平成 28 年 5 月にモモイロペリカン 2 羽が誕生しました。

平成 24 年 11 月に、高病原性鳥インフルエンザ対策としてペリカン島に防鳥ネットを設置しての飼育を始め以来、初めてペリカンの赤ちゃんが誕生しました。

飼育員の人工飼育ですくすく育っており、孵化後 50 日目を過ぎてともに体重は 7 kg に達しました。

7 月 16 日（土）から、一般公開も始まりました。



◆モモイロペリカンは、ヨーロッパ南東部の河川や湖沼の沿岸部、西南アジア、アフリカの赤道以南と広い範囲に生息する。全長は 1.3～1.6m、体重は 8～10 kg。色はピンク色がかった白色、風切羽は黒色で、雌雄共同色をしている。魚を食べる時は、集団で直線やアーチ状の隊列を組んで翼で激しく水面をたたき、岸に向かって魚を追い詰め、一気にすくい上げる。水はのど袋から流し出し、魚だけを丸飲みする。ペリカンは長生きで、54 年生きたという記録がある。